

岡田山 1 号墳 三葉環頭太刀 複製

島根県教育委員会

重要文化財

考古資料・複製



島根県松江市の岡田山 1 号墳は全長 24m の前方後方墳で、大正 4 年にこの古墳横穴式石室から円頭太刀など多くの副葬品が発見されました。昭和 59 年の X 線撮影で、刀身に「額田部臣」を含む銘文が記されていることがわかりました。この太刀は重要文化財となっているものです。岡田山 1 号墳、2 号墳ともに国の指定史跡となっています。銘文は、刀身にタガネで文字を刻んだ後、その刻んだ箇所に銀を埋め込むという「象嵌」技法が用いられていました。この大刀の柄頭には、亀甲つなぎに鳳凰の文様、目釘穴の周りには花形文様が、鐔には C 字文様が、やはり銀象嵌で描かれています。また、柄には断面三角形の銀線が巻かれています。銘文の「額田部民」は、この太刀が作られたと考えられる 6 世紀の半ば頃に、「部民制」が実在していたことを示す文字資料として日本の古代史でも注目されるものです。

KYOTO KAGAKU CO.,LTD
Preservation and Restoration of Cultural Property

tel.075-605-2510
fax 075-605-2519
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp

<http://www.kyotokagaku.com/jp>
rw-kyoto@kyotokagaku.co.jp